

事務事業名		出産祝金支給事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目	
	施策名	07 結婚支援と子ども・子育て支援の充実		区分		会計	款
	基本事業名	03 子育て支援環境の充実		単年度繰返		01	03
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入		02	01
所属		保健福祉部こども家庭センター		【開始年度】		01	0800
課長名		伊勢 徳雄		- 年度～		事務事業区分	
係名		子育て支援係				E 一般	
担当者		迎山 道子					
電話		0192-47-5200					
内線		468					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
市の人口増加を願い、子どもの出産を祝して、子どもの出生時に子育て応援券出産した方に対して(地域振興券)を支給するとともに、協賛店の子育て応援サービスを提供する。						総投入量	
【手順】						事業費	
申請受理→地域振興券交付→1ヶ月分の実績額分の商品券を大船渡商工会議所より購入						財源内訳	
【支給額】						国庫支出金	
1人目に1万円、2人目に2万円、3人目以降に3万円分の商品券をそれぞれ支給						都道府県支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	
						事業費計(A)	
						0	
						正規職員従事人数	
						延べ業務時間	
						人件費計(B)	
						0	
						トータルコスト(A)+(B)	
						0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
当市に在住し出産した方に対して「地域振興券」を支給する。		ア	支給額
			千円
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内在住の出産世帯。		名称	
		カ	支給対象延べ児童数
			人
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
子育て世帯への経済的支援を図る。		名称	
		サ	支給額
			千円
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
市の人口増加につなげる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	2,890	2,430	2,680	1,870	4,900	4,900	
	事業費計(A)		千円	2,890	2,430	2,680	1,870	4,900	4,900	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	220	220	220	220	220	220	
		人件費計(B)	千円	880	880	880	880	880	880	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	3,770	3,310	3,560	2,750	5,780	5,780
⑤活動指標		ア	千円	2,890	2,430	2,680	1,870	4,900	4,900	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	161	138	146	110	140	140	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	千円	2,890	2,430	2,680	1,870	4,900	4,900	
		シ								
		ス								

事務事業ID	1720	事務事業名	出産祝金支給事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成27年度に子育て支援の充実をはかるため、子ども課が新設されたことに伴い、新規事業として開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成26年度に地域福祉課で事業開始に係る準備を行い、平成27年度より子ども課へ移行し、事業を開始した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	子育て世帯の負担軽減のため、議会から増額に関する意見等が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 経済的負担の軽減により、安心して子育てができるようになり、子育て支援環境の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地域住民、企業等の子育て参加意識を醸成し、市子ども・子育て支援事業計画の基本施策「地域における子育て支援の充実」を実現するために必要な事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 当市に在住し、出産した方すべてを対象としており、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 事業者と連携して事業を行うことにより、成果は達成されている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 廃止・休止により、子育てに伴う経済的負担が増し、安心して子育てができる環境とはならなくなる。市子ども・子育て支援事業計画の推進施策「子育て家庭に経済的負担の軽減」の達成を阻む。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 出生数に応じ地域振興券を交付しているため、成果を下げずに事業費を削減する余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 申請書類の受付審査、地域振興券の交付、管理等は必要最低限の時間で実施しているため、削減する余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市在住の、全ての出産した方を対象としており、公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持		●	×	低下		×	×	次年度、それぞれの金額を倍増(1人目に2万円、2人目に4万円、3人目以降に6万円分)しながら事業を継続しつつ効果検証を行い、子育て世帯が求める支援ニーズを把握しながら、支援の在り方に反映させていく。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	出産時の祝い金としての意味合いが強いが、市内協賛店からの協力もあり、地域で子育てを応援する機運の醸成という側面もある。一方で、出生数の増加につながる施策としては弱いことから、市独自の子育て支援事業として継続しながらも、支援の内容については検討していく必要がある。